

活動事例

産業界支援

支援先

2024 台湾国際陶磁ビエンナーレ
国際コンペティション グランプリ受賞

図1 グランプリ受賞作品
「Shell nest 22-05(hustle and bustle)」



図2 台湾で行われた授賞式
(左：新北市長 右：佐藤特命教授)

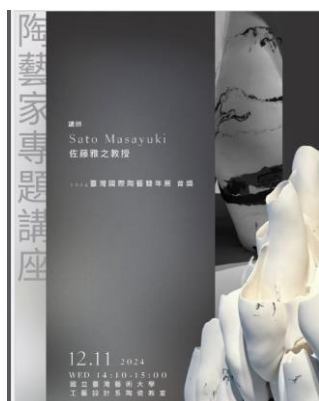


図3 国立台湾芸術大学での講演



図4 入選作品（金森絵美）
「Twist Knitting Tile-Eternal Memories」

【内 容】

当センターの職員（笠間陶芸大学校 佐藤雅之 特命教授）の制作した作品が、『2024 台湾国際陶磁ビエンナーレ』においてグランプリを受賞いたしました。（図1）

○受賞コンペについて

台湾国際陶磁ビエンナーレとは、台湾・新北市にて2004年から2年毎に行われている世界最大級の陶磁器コンペティションです。

今回のコンペでは7名の国際審査員による審査が行われ、66ヶ国から計1,216点の作品の応募がありました。

その中から74点が入選・うち20点が入賞し、グランプリは、入賞の中で最高の賞です。

○受賞内容

11月2日（土）、台湾 新北市立鶯歌陶瓷（シンペイ市立インクー陶磁）博物館にて開催された授賞式では、陶芸関係者など多くの聴衆が見守るなか、佐藤特命教授へ栄誉ある賞が授与されました。（図2）

同日開催されたフォーラムでは、佐藤特命教授が受賞講演者として登壇し、自身の作陶活動について語りました。

またグランプリ受賞者は同博物館滞在施設にて約2か月間滞在し、作品制作やフォーラムなどへのパネリストとして出席、国立台湾芸術大学での講演会などの陶芸指導を行いながら、茨城県や笠間焼のPRをしてまいりました。（図3）

なお、入選作品は新北市立鶯歌陶瓷博物館にて2024年10月4日から2025年4月6日まで展示されます。

○今後の展開

受賞した作品は、工業的に調合された磁器土を石膏型で成形するのが常識であるところを、不向きとされる手捻り技法で制作するという挑戦からつくられました。

こうした新技術への挑戦は笠間陶芸大学校での学生指導をはじめ、県内企業の技術指導に活かし、その成果を広めていきたいと考えています。

○学生指導への展開

今回のコンペでは当校学生へ出品指導を行い、現役の研究科生が初めて入選しました。（図4）

今後も学生には積極的な公募展への挑戦を指導し、笠間焼のステータス向上に貢献していきます。

基礎となった事業

令和6年度 笠間陶芸大学校事業

担当グループ

陶芸人材G

グループ長

常世田 茂

TEL:0296-72-0316

特命教授

佐藤 雅之